

令和2年度 香川県立図書館の図書館評価

I 図書館評価の概要

香川県立図書館では、運営の改善と図書館サービスの向上を図るため、図書館運営に関する評価の指標及び目標を設定し、運営状況について評価を行う「図書館評価」を実施した。

<総括>

評価指標の数値目標の達成状況は、12項目のうち、評価A(数値目標の達成率100%)が6項目、評価B(数値目標の達成率80%以上100%未満)が5項目、評価C(数値目標の達成率80%未満)が1項目となった。

重点目標「1. 図書館資料の整備充実」に関しては、県民の課題解決支援に役立つ資料や調査研究に必要な専門的資料を収集するとともに、郷土資料の収集について、関係機関などへの働きかけを積極的に行うなど、数値目標を達成した。引き続き、資料の整備充実に努めたい。

重点目標「2. 図書館サービスの充実、強化」に関しては、「入館者数」、「新規登録者数」、「個人貸出冊数」、「児童団体貸出・学校支援文庫貸出冊数」、「来館者満足度」5項目で数値目標を達成できなかった。数値目標を達成できなかった5項目は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けた結果であると考え、利用者アンケート等を参考にするなど新しい生活様式に対応したサービスの向上に努める必要がある。

重点目標「3. 読書普及活動の充実」及び「4. 文化活動の推進」に関しては、「展示等の実施回数」は数値目標を大きく上回った。また、「イベント、講座、研修会等の開催回数」のうち開催総数は数値目標を達成したものの、数値目標のうち数として設定している子ども向けのイベントは、子ども読書まつりの中止により、開催回数が数値目標を下回ったほか、「ホームページアクセス数」も数値目標に達しなかった。今後は、関係機関と連携・協力した展示、イベントの開催に一層取り組むほか、ホームページのコンテンツの充実を図り、図書館の利用拡大に努めたい。

重点目標	評価指標	数値目標	実績	達成率	評価
1. 図書館資料の整備充実	① 蔵書冊数(冊)	1,079,000冊	1,081,663冊	100.2%	A
	② 郷土資料受入冊数	2,300冊	2,369冊	103.0%	A
2. 図書館サービスの充実、強化	③ 入館者数	496,000人	373,213人	75.2%	C
	④ 新規登録者数	3,700人	3,015人	81.5%	B
	⑤ 個人貸出冊数	888,800冊	821,206冊	92.4%	B
	⑥ レファレンス件数 (クイックレファレンスを除く)	1,200件	1,200件	100.0%	A
	⑦ 協力貸出冊数	6,460冊	6,668冊	103.2%	A
	⑧ 児童団体貸出・学校支援文庫 貸出冊数	9,200冊 団体3,200冊 学校6,000冊	7,831冊 団体2,251冊 学校5,580冊	85.1%	B
	⑨ 来館者満足度	90%以上	88%	97.8%	B
3. 読書普及活動の充実	⑩ ホームページアクセス数 (図書館トップページ)	397,000件	351,947件	88.7%	B
	⑪ 展示等の実施回数	60回以上	76回	126.7%	A
4. 文化活動の推進	⑫ イベント、講座、研修会等の 開催回数	20回以上 (うち子ども向け 7回以上)	20回 (うち子ども向け 5回)	100% (71.4%)	A (C)

評価A: 数値目標を達成した(達成率100%以上)

評価B: 数値目標を概ね達成した(達成率80%以上100%未満)

評価C: 数値目標を下回った(達成率80%未満)

II 図書館評価の達成状況

重点目標	評価指標	数値目標	2年度実績	達成率	評価
1. 図書館資料の整備充実	① 蔵書冊数	1,079,000冊	1,081,663冊	100.2%	A

<達成状況等>

○令和2年度の資料購入費は令和元年度と同程度であることから、購入10,500冊としたほか、寄贈等7,000冊、廃棄500冊で、差し引き増加冊数17,000冊と見込んで、数値目標を1,079,000冊とした。

○資料受入冊数が18,704冊（内訳：購入12,811冊、寄贈4,599冊、再用・その他1,294冊）で、廃棄が527冊となり、差し引き18,177冊増加した。

○特に、県民の課題解決に役立つ資料を提供するコーナーの充実のため、県民が生活上、仕事上に役立つ資料や社会的に関心の高い資料に留意して収集するとともに、調査研究に必要な専門的な資料、郷土資料、児童資料を重点的に収集した。

29年度実績	30年度実績	元年度実績
1,034,601	1,044,763	1,063,486

<今後の取組み>

○県民の課題解決支援の資料、郷土資料、児童資料に加え、市町立図書館を支援するための資料などを重点的に収集するほか、蔵書構成や利用状況を考慮しつつ、適切な資料の収集・保存に努める。

○県民生活の様々な場面において新型コロナウイルスの影響がある中、感染症に対する最新の知見に加え、新しい生活様式や働き方に関する資料の収集にも留意する。

重点目標	評価指標	数値目標	2年度実績	達成率	評価
1. 図書館資料の整備充実	② 郷土資料受入冊数	2,300冊	2,369冊	103.0%	A

<達成状況等>

○令和元年度と同じ数値目標を設定し、数値目標を3.0%上回った。

○郷土資料の受入冊数の内訳は、購入583冊、寄贈1,716冊、再用・その他70冊で、令和元年度と比較して、49冊（2.1%）増加した。

○これまでどおり県、市町、関係機関等の行政資料等を積極的に収集し、郷土資料の充実に努めた。

29年度実績	30年度実績	元年度実績
2,376	2,312	2,320

<今後の取組み>

○関係機関などに寄贈依頼を行うなど、引き続き、積極的に郷土資料の収集に努める。

重点目標	評価指標	数値目標	2年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	③ 入館者数	496,000人	373,213人	75.2%	C

<達成状況等>

- 令和元年度と同じ数値目標を設定したが、目標を大幅に下回った。
- 令和2年度の数値目標を122,787人(24.8%)、令和元年度実績を108,069人(22.5%)それぞれ下回った。
- 1日平均入館者数が、令和元年度の1,615人に対して、令和2年度は1,283人で、1日あたり332人(20.6%)減少した。
- 令和3年2月に実施した「図書館利用に関するアンケート」調査において、「図書館の利用回数を減らした」と回答した利用者は17%にのぼることから、新型コロナウイルス感染拡大が、入館者数の大幅な減少につながった要因と考えられる。
- 利用者の拡大と利便性の向上を図るため、令和元年度に引き続き、7月から9月の金曜日のべ12日間、開館時間を通常午後7時までのところ1時間延長し、午後8時までとした。延長時間帯の1日平均入館者数は、令和元年度に比べ15人減り21人であった。

29年度実績	30年度実績	元年度実績
448,778	459,102	481,282

<今後の取組み>

- 閲覧室出入口付近に手指消毒液を設置したり、カウンターや閲覧席に間仕切りを設置するなど、利用者が安心して図書館を利用できるよう、新型コロナウイルス感染防止に適切に対応する。
- 関係機関等と連携を図りながら利用者のニーズの応じた図書館サービスを提供するとともに、ホームページ等を通じて、多彩な展示や講座などの図書館の取組みをPRすることにより、図書館の利用促進を図る。
- 利用者の拡大と利便性の向上のため、7月から9月の金曜日のべ12日間、開館時間の延長を令和3年度も実施する。

重点目標	評価指標	数値目標	2年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	④ 新規登録者数	3,700人	3,015人	81.5%	B

<達成状況等>

- 令和元年度実績見込みの維持を数値目標としたが、目標を大幅に下回った。
- 新型コロナウイルスの感染拡大は、新規登録者数にも影響を及ぼし、令和2年度の数値目標を685人(18.5%)、令和元年度実績を721人(19.3%)それぞれ下回った。
- 令和2年度の新規登録者年代別内訳は、0～12歳 728人、13～18歳 177人、19～39歳 1,292人、40～59歳 568人、60歳以上 250人である。令和元年度と比較した年代別増減率は、0～12歳(32.7%減)、13～18歳(11.5%減)、19～39歳(7.1%減)、40～59歳(21.0%減)、60歳以上(27.7%減)となり、すべての年代で減少した。
- 新規登録者の増加を図るため、新規採用教員(小学校・中学校・高等学校)研修や県行政情報ネットワークを通じ、県立図書館の利用を働きかけたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、前年度並みに新規登録者数を維持するには至らなかった。

29年度実績	30年度実績	元年度実績
4,030	4,033	3,736

<今後の取組み>

- 引き続き、新規採用の教職員や県職員、図書館近隣の高校や企業等に対して図書館のPRを行い、図書館の利用や新規の登録を呼びかける。
- 市町立図書館に対して、県立図書館PRチラシの配布と資料貸出カード申込書の設置を依頼する。

重点目標	評価指標	数値目標	2年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑤ 個人貸出冊数	888,800冊	821,206冊	92.4%	B

<達成状況等>

- 令和元年度と同じ数値目標を設定したが、達成することができなかった。
- 令和2年度の数値目標を67,594冊（7.6%）、令和元年度実績を63,088人（7.1%）それぞれ下回った。
- 内訳は、一般書が440,786冊、児童書が318,214冊で、令和元年度と比較して、一般書が14,386冊（3.2%）の減、児童書が43,487冊（12.0%）の減となり、児童書の減少幅が大きかった。
- 令和3年2月に実施した「図書館利用に関するアンケート」調査において、「借りる冊数を減らした」と回答した利用者は4%のみであり、新型コロナウイルス感染拡大の個人貸出冊数に及ぼす影響は、入館者数に比べると比較的小さかったものと考えられる。
- 課題解決支援コーナーの充実や所蔵資料を紹介するミニ展示の積極的な開催に取り組んだものの、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、前年度並みに個人貸出冊数を維持するまでには至らなかった。

29年度実績	30年度実績	元年度実績
909,422	897,552	884,294

<今後の取組み>

- 県民の生活や仕事に役立つ資料、社会的に関心の高い資料、調査研究に必要な専門的資料などの収集に留意するとともに、課題解決支援コーナーの充実や関心の高いテーマでのミニ展示の開催により、県民の学習・情報活動の拠点施設としての魅力を高める。

重点目標	評価指標	数値目標	2年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑥ レファレンス件数（クイックレファレンスを除く）	1,200件	1,200件	100%	A

<達成状況等>

- 令和元年度と同じ数値目標を設定し、数値目標と同数となった。
- 内訳は、来館者の口頭での質問が640件、電話での質問が332件、文書での質問が54件、メールでの質問が174件で、令和元年度と比較して、口頭での質問が92件（12.6%）の減、電話での質問が46件（16.1%）の増、文書での質問が19件（54.3%）の増、メールでの質問が48件（38.1%）の増となり、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、非来館による質問の増加が顕著であった。
- 夏季休業期間中には、郷土資料コーナーで「子どものための郷土資料」、児童資料コーナーで「夏休みの宿題に役立つ本（感想文の書き方・自由研究等）」の展示を行うとともに、子どものための調べ方ガイドを2つのテーマで新たに作成し、児童・生徒の調べ学習の支援を行った。

29年度実績	30年度実績	元年度実績
1,039	1,215	1,179

<今後の取組み>

- レファレンスサービスに不可欠な参考資料や基本図書の充実に努めるとともに、商用データベースの活用を促すなど、課題解決支援に役立つ情報を提供し、質の高いレファレンスサービスの提供に努める。
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、増加する非来館によるレファレンスの質問に的確に回答するとともに、県民が調査や研究を行う際、インターネットを通じてレファレンス事例を容易に参照できるよう、国立国会図書館のレファレンス協同データベースへのレファレンス事例の登録を行う。
- 郷土に関係することのほか、新たなテーマで「調べ方ガイド」を作成するなど、レファレンスサービスについて、より一層の広報に努める。
- 夏季休業期間中には、児童資料コーナー、Young Generationコーナー、郷土資料コーナーにて、調べものに役立つ資料を展示し、自由研究などに活用してもらう。

重点目標	評価指標	数値目標	2年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑦ 協力貸出冊数	6,460冊	6,668冊	103.2%	A

<達成状況等>

- 令和元年度と同じ数値目標を設定し、数値目標を3.2%上回った。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のための、当館および市町立図書館において臨時休館にともなう協力貸出業務の休止期間があったものの、令和2年度の年間を通じた協力貸出冊数は、前年度の実績を196冊（3.0%）上回った。
- 内訳は、市町立図書館への貸出冊数が6,644冊、市町立図書館未設置町（直島町、琴平町）の公民館等への貸出冊数が24冊である。
- 協力貸出対象館32館の貸出冊数は、令和元年度と比較して、12館が増加、18館が減少、2館が増減なしであった。

29年度実績	30年度実績	元年度実績
7,121	6,451	6,472

<今後の取組み>

- 本県における中核図書館として、市町立図書館を支援するために必要な資料の収集に努め、市町立図書館等への支援を図る。
- 県立図書館と市町立図書館等の間において週2回運行している、資料の搬送を行う協力便の維持・継続に努める。

重点目標	評価指標	数値目標	2年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑧ 児童団体貸出・学校支援文庫貸出冊数	9,200冊 団体3,200冊 学校6,000冊	7,831冊 団体2,251冊 学校5,580冊	85.1%	B

<達成状況等>

- 令和元年度実績見込みと同程度を数値目標としたが、目標に達することができなかった。
- 令和元年度と比較して、児童団体貸出冊数は1,087冊（32.6%）の減、学校支援文庫は340冊（5.7%）の減となり、全体として数値目標を1369冊（14.9%）下回った。特に児童団体貸出については、新型コロナウイルスの感染が懸念されるなか、ボランティア団体がおはなし会等を手控えたことにより、貸出冊数が伸びなかったものと考えられる。
- 学校支援文庫貸出冊数の内訳は、小学生版が5,340冊、中学校版が240冊であった。
- 学校支援文庫については、ホームページの「子どもの読書応援ページ」への掲載のほか、庁内LANの掲示板への掲載、県教育センター及び高松市総合教育センターでの新規採用教員研修での周知を行った。

29年度実績	30年度実績	元年度実績
7,488冊 団体3,048冊 学校4,440冊	7,824冊 団体2,584冊 学校5,240冊	9,258冊 団体3,338冊 学校5,920冊

<今後の取組み>

- 学校支援文庫については、小学校版、中学校版ともに、新学習指導要領全面実施にあわせて、新しい図書セットを整備するとともに、一部既存の図書セットについては、新しい教科書にあわせて刷新を図る。
- 学校支援文庫では、新たに、特別支援教育に対応した図書セットの整備にも取り組む。
- 引き続き、児童団体貸出および学校支援文庫の利用促進を図り、子どもの学習活動や読書活動を支援する。

重点目標	評価指標	数値目標	2年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑨ 来館者満足度	90%以上	88%	97.8%	B

<達成状況等>

- 令和2年度の数値目標として、90%以上を目指すこととしたが、目標に達することができなかった。
- 令和3年2月16日（火）～2月21日（日）の6日間、来館者を対象に「図書館利用に関するアンケート」調査を実施した。506人（男性253人（50%）、女性248人（49%）、無回答5人（1%））の回答のうち、当館のサービスの満足度についての質問に対して、満足247人（49%）、やや満足196人（39%）との回答を得た。
- 閲覧室出入口への手指消毒液設置、カウンターや閲覧席への間仕切り設置、清掃スタッフによる定期的な閲覧席等の除菌等、利用者が安心して図書館を利用できるよう、新型コロナウイルス感染防止に適切に対応した。
- エントランスホールにおいて、照明器具をLEDに交換し照度を高めたほか、劣化が進んでいたソファを独立した座席に置き換えるなど休憩コーナーのリニューアルを行ない、利用者の利便の向上を図った。

29年度実績	30年度実績	元年度実績
93%	88%	89%

<今後の取組み>

- アンケート調査で今後取り組んでほしいこととして、「図書や雑誌の充実」、「健康、医療、子育てなどの生活に役立つ情報の提供」、「行事・講座等の充実」、「施設・設備の充実」、「予約・リクエストサービスの充実」などが挙げられた。これらの意見等を参考にし、新鮮で魅力ある資料の収集に積極的に取り組むほか、利用者ニーズに応じた図書館サービスの強化や施設・設備の改善による読書環境の向上を図り、一層満足度が上がるように努める。

重点目標	評価指標	数値目標	2年度実績	達成率	評価
3. 読書普及活動の充実	⑩ ホームページアクセス数（図書館トップページ）	397,000件	351,947件	88.7%	B

<達成状況等>

- 令和元年度実績見込みと同程度を数値目標としたが、目標に達することができなかった。
- 蔵書検索や貸出中資料の予約といった機能の提供に加え、Webサイトでは、新着図書の案内、講座・展示の案内、ブックリストなど、図書館サービスと連動した情報の提供を積極的に行ったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、来館者が大幅に減少したことが、ホームページのアクセス数にも反映したと思われる。
- 図書館トップページへのアクセス数の内訳は、webサイト294,485件、携帯サイト4,918件、スマートフォンサイト33,864件、市町立図書館用サイト18,680件となっている。令和元年度と比べ、スマートフォンサイトへのアクセス数が25,441件（42.9%）減少したが、市町立図書館用サイトへのアクセス数が1,604件（9.4%）増加するなど、サイトにより、アクセスの動向に違いがあった。

29年度実績	30年度実績	元年度実績
420,515	476,003	405,315

<今後の取組み>

- ホームページは当館における重要な情報発信ツールであることから、引き続き、企画展示やイベントなどの情報をタイムリーに発信するほか、ブックリストやデジタルライブラリーのコンテンツの充実に努める。

重点目標	評価指標	数値目標	2年度実績	達成率	評価
3. 読書普及活動の充実	⑪ 展示等の実施回数	60回以上	76回	126.7%	A

<達成状況等>

○毎年度、展示等について60回以上の実施を数値目標としているが、令和2年度においては、展示コーナーでの企画展示、各コーナーでの時宜に合ったテーマの展示を積極的に開催した結果、目標を大きく上回った。
○展示コーナーでは、独立行政法人水資源機構と連携して、企画展示「早明浦ダムから香川県に水が届くまで」を、また、Young Generation コーナーでは、高松商業高等学校と連携して、ミニ展示「本を使って授業をしたら…英語・国語編@高松商業高校」を開催するなど、他の機関と連携した展示にも取り組んだ。

- ・展示コーナー企画展示等13回（うち他の機関との連携・協力9回）
- ・イベント関連本展示等14回
- ・子育て支援コーナー企画展示4回
- ・健やか生活応援コーナーミニ展示5回
- ・ビジネス情報・しごと応援コーナーミニ展示6回
- ・Young Generation コーナーミニ展示など9回
- ・児童資料コーナー「今月の本」など20回
- ・雑誌コーナー「なつかしのバックナンバー」4回
- ・郷土資料コーナーミニ展示1回

29年度実績	30年度実績	元年度実績
63回	78回	74回

<今後の取組み>

○利用者の展示をきっかけとした来館につなげられるよう、今後とも、利用者の興味を喚起する魅力的な展示となるようテーマ設定を工夫するほか、開催について、当館ホームページや報道機関への資料提供を通じた広報に努めたい。

重点目標	評価指標	数値目標	2年度実績	達成率	評価
4. 文化活動の推進	⑫ イベント、講座、研修会等の開催回数	20回以上 (うち子ども向け7回以上)	20回 (うち子ども向け5回)	100.0% (71.4%)	A (C)

<達成状況等>

○毎年度、イベント、講座、研修会等の20回以上（うち子ども向け7回以上）の開催を数値目標としているが、令和2年度においては、開催総数は目標に達したものの、新型コロナウイルス感染防止のため子ども読書まつりのイベントが中止となったことにより、子ども向けのイベントの開催回数が目標に達することができなかった。
○2年度には新たに、子どもと本をむすぶ基礎的な知識と技術を学ぶ初心者向け全3回の連続講座を開催したほか、他の機関と連携して講座やミニセミナーを開催するなど、文化活動の推進に努めた。

- ・イベント8回
図書館コンサート2回、他機関との連携によるイベント3回、高校生によるおはなし会1回、図書館探検2回
- ・講座7回
高校生を対象にした読み聞かせ講座1回、健やか生活応援講座2回、子どもと本を結ぶ基礎講座3回、子育て支援講座1回
- ・研修会等5回
図書館職員研修会（初任者研修1回、専門研修1回）
香川県図書館大会 1回
実務担当者会 2回

29年度実績	30年度実績	元年度実績
21回	20回	21回

<今後の取組み>

○新型コロナウイルス感染防止の対策を講じつつ、図書館への理解を深めるためのイベントを企画し開催するとともに、国や県などの機関と連携して、課題解決に役立つイベントや講座の提供に努める。
○子どもの読書活動を推進する人材を育成するため、令和3年度も子どもと本をむすぶ基礎講座を開催する。
○市町立図書館職員を対象とした、専門的な知識・技術に関する研修を開催するとともに、市町立図書館実務担当者会を開催し、互いに学び研鑽しあうことができる機会を設ける。

Ⅲ 外部評価

令和2年度図書館評価の達成状況については、令和3年7月30日開催の令和3年度第1回香川県立図書館協議会において、委員の外部評価を受けた。

<委員からの意見>

○令和2年度の入館者数の大幅な減少については、サービスの休止や閲覧席の削減など新型コロナウイルス感染防止対策を講じた結果であることから、参考値にとどめることが妥当である。

○コロナ禍における評価については、感染症対策による入館者数減の影響を直接受けない図書館運営に重点を置き、その評価に基づき改善を図るべきである。一方、コロナ禍によって職員が工夫し、予期せぬ成果が得られた事業や取組み等については「達成状況等」の中で特記事項として掲載することが望ましい。

○各評価指標の設定について課題は残るものの、実施途中の変更は公平さを欠くため、当初の計画どおり評価を行うことは承知するが、当協議会における上記の意見を付帯意見として掲載いただきたい。